



農地パトロール

遊休農地の監視に努める農業委員会(8/28)

被災地支援の医師派遣事業で、新たに8月から12月まで断続的ですが整形外科医の派遣が決まりました。同時に、整形外科の常勤医獲得について積極的に取り組むことも示



新しい手術室がほぼ完成。9月より供用開始。

市立病院

「総合診療」をベースに再生

運営協議会で植草病院長が提示

市立病院の運営委員会が8月23日開催されました。この間、医師数の減少がつづいて、さらに昨年3月の震災に襲われました。そうした困難のなかであつて、建物を修復し、再生をめざして病院関係者の努力が重ねられてきました。被災地支援での医師派遣等も受け、昨年度夏以降、前年度実績ほどによく回復しつつあります。さらに今年度の収益は、昨年実績より2割増で推移しています。



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462



関本多目的集会所(8/29)

コメの放射性物質の検査についての説明会が、8月27〜29日、市内5会場で開

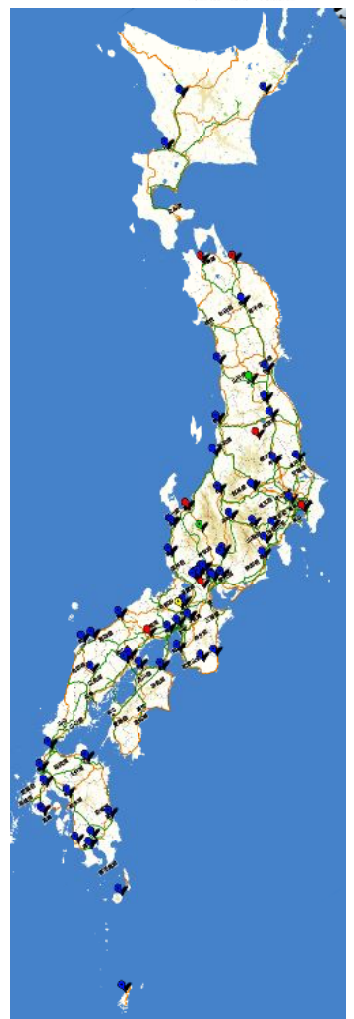
米の放射能検査

市内5ヶ所で説明会

かれました。昨年は、福島県で安全宣言が出された後に基準を超える汚染米が判明し、再検査の事態となりました。そうした経緯をふまえて国は今年産の米について、昨年50ヘクタール超の数値だった地域を中心に細かく検査することを指示しました。茨城県全体では、より精密なゲルマニウム測定器による1300件の検査を予定し、すでに、早場米を中心に10市町村で出荷自粛規制が解除されています。

されました。さらに、この4月に着任した植草義史新院長より、ここ20年間の患者数・職員数、収益、支出など各種データから、市立病院の問題点と改善点が示されました。植草院長は、専門医に頼る状況を改め、総合診療をベースにおこなっていきたいと提示。内科医を中心に、基本的にすべて診ていくとの

姿勢で、そのために医師だけだけでなく、病院職員間の情報交換と相互理解、患者・市民への啓もうも積極的にすすめたいとしました。同運営委員の鈴木やす子市議は「市民には、いつでも安心してかかることがで



毎週金曜日、総理官邸前デモに呼応して、全国に広がった脱原発の行動。8月31日は74ヶ所に(「赤旗」調べ)

北茨城市内では、旧町ごとに検査の方針が示されました。昨年数十ヘクタールの数値が出た大津町および北部の関南・関本は重点地域として1haにつき1点、磯原・中郷・華川の南部各町については70haにつき1点が抽出・検査されます。市によれば、9月3〜5日に集荷業者と一緒に農家訪問して協力依頼、18日から検体を集め、早く21日以降に出荷自粛規制を解除し、9月中に全面解除をめざすとしています。

市南部3町ごとに3検体を選ぶ基準については、市



日本原電・水戸事務所前で東海第二原発の廃炉を求める(8/24)

から困難であること、また花園・才丸地域は別枠で検査するとの答弁でした。会場からの質問では、稲への移行係数や内部被曝量の計算の仕方や再検査になった場合の保管の問題などが出されました。



北茨城9条の会・写真展示「暮らしと原発」(8/19、市民夏まつり会場の一角にて)